

新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPPO



April 2016
No.758



第10回 胎内市囲碁・将棋大会

競技が開始されると表情が変わり、対局に集中していました。

4~5

特集

新年度の活動に向けて

事務局長 田原 理

CONTENTS

- 2………… トピックス 本会組織等の改定について 事務局長 田原 理
- 3………… 視 点 「伝統的行事のもつ教育力を大切に」新潟リハビリテーション大学 吉川 雄次
ひ ろ ば 「人生に悔いあり生涯学習で取り戻せる？」長岡市公運審委員・社会教育委員 星 博
掲 示 板 「にいがた生涯学習県民フォーラム」企画会議開催
- 6………… 実践記録シリーズ 20代向けユースセミナー
～仕事帰りにアハ！体験 ちょっと寄り道していきませんか～ 新潟市中央公民館
- 7………… サークル交流 「大好きな手芸で仲間作り」（上越市）／「声の和・人の和」（新発田市）
素 顔 拝 見 山本 浄司さん（柏崎市）／青木 寛さん（南魚沼市）
- 8………… お元気ですか 「すきなことが、できる喜び！！」 十日町市・徳井 雅司さん
ネットワー

本会組織等の改定について

事務局長 田原 理

第2回評議員会(2月19日開催・新潟市)では、主に、会務報告と次年度事業等について審議了承され、その内容は先月3月号に特集として掲載されました。



この会議では、本会運営上の重要な次の案件も審議されました。

1 当連合会組織の改定について

新潟市は、市町村合併と政令市以降時にそれまでの下越地区行政区から離れ、公民館連合会の下越地区公連に所属していま

せんでした。各地区公連への補助金の対象からもはずれるという矛盾が生じていました。活動補助金については平成26年度から予算化していますが、今回、その組織上の矛盾点をただすため、新潟市を地区扱いとして、平成28年度から県公連は上、中、下越地区公連と新潟市の4地区体制にすることが了承されました。

2 会長職の持ち回りについて

現在、会長は上、中、下越地区で2年任期で持ち回りをしています。会長職は県公連の発足以来、新潟市から選出されてきましたが、市町村合併時頃から新潟市は会長職につかず、副会長職でした。次年度から4地区体制にすることから新潟市を会長職順に加えることが了承されました。

また、上越地区が構成3市で、短期間で会長職が廻ってくることから4地区順から1期はずすことも了承されました。

〈会長職順〉

- ↓上越地区(平成28、29年度)
 - ↓新潟市(平成30、31年度)
 - ↓下越地区(平成32、33年度)
 - ↓中越地区(平成34、35年度)
 - ↓新潟市(平成36、37年度)
 - ↓下越地区(平成38、39年度)
 - ↓中越地区(平成40、41年度)
 - ↓上越地区(平成42、43年度)
- 以降、繰り返し。

3 県大会の開催地順について

現在、県大会開催地は新潟市を含めて4地区で順に開催されています。上越地区は三市で構成されていることから、現状の開催地順では短期間に主管が廻ってくることになっていました。本年度は妙高市で開催されますが、これ以降、上越地区開催を1回外すことが了承されました。

〈県大会開催地順〉

- ↓上越地区(平成28年度)
- ↓中越地区(平成29年度)
- ↓新潟市(平成30年度)
- ↓下越地区(平成31年度)
- ↓中越地区(平成32年度)

- ↓新潟市(平成33年度)
 - ↓下越地区(平成34年度)
 - ↓上越地区(平成35年度)
 - ↓中越地区(平成36年度)
 - ↓新潟市(平成37年度)
 - ↓下越地区(平成38年度)
- 以降、繰り返し。
- なお、関フロの新潟主管大会は平成38年度の予定です。

〈参考〉

関フロ大会開催担当都県

40	東京都
39	埼玉県
38	新潟県
37	首都圏大会
36	長野県
35	茨城県
34	静岡県
33	山梨県
32	千葉県
31	栃木県
30	首都圏大会
29	群馬県
28	神奈川県
年度	開催都県

「新潟県公民館月報」 毎月15日発行 いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部160円 年間1,920円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711

ひろば

「人生に悔いあり 生涯学習で 取り戻せる？」

長岡市社会教育委員
公民館運営審議会委員
星 博



人生には終わりがあある。そんな当たり前の中に母を送り、認知症の父を世話し、自分も年を重ねやっとながら来た。まだまだやりたかった事や、途中で諦めてしまった事が多く、もっと勉強すればよかったなどと、悔いだらけの人生と感じるこの頃である。

そんな折、高齢者のクラシックギターサークルから誘いがあった。前に挫折したので、中古ギターを買って文化センターでの練習に毎週参加させていた。ギターは、楽譜を目で追い、左手の指で指示された弦とフレットを押さえ、右手の指先でその弦を爪弾き、耳で出てくる音を確認していく作業である。きつと脳細胞は随分と忙しく働いているにちがいない。ボケ防止にはちょうどよい。

まだ演奏と言うには遠いが、それでも曲らしくなってきたと自認している。

しかし、音楽は感性が必要な芸術領域。それは、練習だけでは取り戻せるものではないようである。

やり残したことに再度挑戦してみると、新しい出会いがあるなど結構楽しいものだ。

人生を取り戻すなどと言うと大げさになるが、生涯学習にはそんな力が秘められていると思う。悔いてばかりではいられない。時間が無いのだから。

視点



新潟リハビリテーション大学
非常勤講師 吉川 雄次

「伝統的行事のもつ 教育力を大切に」

私の暮らす地域には、村上大祭屋台巡行や七夕祭屋台引き廻しなどの伝統的な行事がある。見物に来た観光客から「小さな子から年寄りまでみんなが一緒にこうして参加できる行事って、なかなか無いんですよ。羨ましいですねえ。」と、感想を寄せられたことがある。各年代のみんが参加する行事なのだ。かつて私は、村上市の生涯学習年代別プログラムの作成検討に携わったことがあるのだが、

近頃思うのは、伝統的行事の準備から本番、後始末まで、人々の関わりの中に、「年代に合った学習課題と学習の場が見事に組み込まれている」ということだ。

鉦(かね)や太鼓の演奏に携わる乗子の子どもたちは、「靴をきちんと揃えて」「正座して！もつと背を伸ばして、大きなかけ声で！」などと厳しく指導される。ワクワクする晴れの舞台を夢見ながら、子どもたちは指導を受け、作法や所作を素直に身に付けるのだ。

無論、参加する子どもたちの親にも「親としてあるべき姿が求められる。」

昼の仕事の疲れをもつとせ

ず子どもたちの指導に当たる大人たちには、そればかりではなく、屋台の組立や巡行推進に向けた諸準備が山積している。否が応でも地域の名誉と威信を掛けた団結と実践が求められる。

高齢者も準備から本番の展開まで、動きの全体を見る。そして、言うべきことは言う。

当日は、親子、青年、熟年幹部、爺・婆が一体になって屋台を引き廻し、一緒に飯を食べ、飲み、喜び合う。

一つの伝統的行事が引き継がれていく中に、伝統的な生涯学習の姿が脈々と息づいていくことを見守るのも私たちの責務だと思っただが、どうだろうか。

掲示板 HOT NEWS

「にいがた生涯学習県民フォーラム」企画会議開催 第2回企画会議 4月25日県庁

当フォーラムは、県教育委員会が主催しますが、昨年からの企画と運営に「県社会教育団体懇話会(社団懇)」(県内の社会教育10団体で構成)が参加しています。県公連は社団懇の構成メンバーです。昨年に続き、平成28年度のフォーラム実行委員会では田原事務局長が委員長になって協力しています。今年のフォーラムは10月に開催予定です。

● すが、すでに2月29日(月)に1回目の企画会議が開催されました。今回は企画、運営で社団懇の生涯学習協会が2日目の運営を委託されました。県と協力してユニークな運営が期待されています。

● 写真は、昨年のフォーラム記念講演で好評を得た、講師「村松真貴子」さんです。右は前課長の坪川氏。



特集

新年度の活動に向けて



新潟県公民館連合会
事務局長
田原 理

2月19日(金)に理事会と評議員会が開催され、平成27年度の会務報告と平成28年度本会活動基本方針が承認されました。これに基づき、5月に開催される今年度の第1回理事会、評議員会を経て今年度の事業が始まります。その詳細は前号で紹介していますので、本稿では前年度の県公連の活動を振り返るとともに、新年度の活動に向けて課題等を整理しながら述べたいと思います。

1 公民館の現状

公民館は、戦後、自治活動の拠点として制度化され、地域住民が身近につどい、学び、活動する場所として社会教育の振興に寄与するとともに、人づくり・地域づくり等に大きな役割を果たしてきました。

しかしながら、現状では、大きく変化している社会に因應する公民館になっているとは言えないではないでしょうか。現代的な課題にどう取り組むかが各公民館に共通して問われています。

全国で17000館を超える公民館ですが、公民館には大きく分けて二つのタイプがあるといわれています。

- (1)ただ賑やかなだけの公民館
職員も住民も公民館の役割をまったく認識しないまま活動が行われている所がこのタイプ。
- (2)公民館らしく賑やかな公民館
職員が住民のどちらかが、または両者が公民館の役割を認識した上で活動が展開されているところはこのタイプ。

2 公民館の役割は何なのか

公民館は何のために設置されたかは、(1)権利として学びを補償する場所
これは、憲法、教育基本法、社会教育法という現行の教育法制度に流れる理念は「学ぶ権利の保障」であるといわれています。

(2)地域づくりの拠点として
寺中作雄氏は、その著書で公民館をつくる二つの理由として

- ①平和主義と民主主義を身につける
 - ②文化の香り高い人格を磨く
 - ③地域に産業を興し、地域の政治を立て直し、地域の生活を豊かにする
- と述べ、公民館が「地域づくり、社会づくり」の拠点

点として構想されるものであると明確にしています。社会づくりに結びつくのは「人づくり」です。このことを原点として公民館活動を行う必要があるのではないのでしょうか。

- (3)社会教育・公民館活動における重要なこと
- ①学びの主体は住民である
- ②学びの支援者は職員である
- ③学びの支援者は国、地方公共団体である

このような住民、職員、行政の役割分担を認識していることが大変重要であると思います。



新潟市新任職員研修会 講話 田原 理

3 公民館が問われていること

いま、公民館が問われていることは、それぞれの公民館で活動の原点、原則によって活動を蓄積し発展

させているかです。そのためには一度活動の総点検をする必要があります。その視点は、次の4点です。

- ①地域課題を取りあげているか
- ②その上で主催事業に活かしているか
- ③サークル等が団体活動として地域を意識しているか
- ④広報紙が「地域づくり」に役立つものになっているか

また、職員と住民が公民館の原点と役割を正しく認識しているかも重要ではないでしょうか。この両者が公民館の正しいあり方を理解していなければ良い公民館活動ができないでしょう。そのためには、公民館を学ぶための「公民館入門教室」とかレベルアップの講演会、研修会が必要だと思えます。



公民館職員研修会 ワークショップ

4 新しい動向

平成の大合併以来、全国の市町村の公民館数が約1000館減少しました。新潟県では、合併前の平成18年には773館があり全国第2位でしたが、平成26年には711館に減少し同第5位になっていま

す。それにともない職員が削減されて活動が低下している現状があります。

また、首長部局への移管やコミセン化して貸館化している公民館も少なくありません。一番の問題は、財政削減のあおりを公民館が受けていることで、指定管理制度の導入や事業予算の削減があり職員の削減とあいまって質の高い、幅の広い事業を展開できにくくなっているという現状があります。

一方、日本の社会全体では次のような社会現象が起きています。

自己中心的な価値観で住民間のトラブルが多くなっています。やっつけていいことと悪いことの区別がつかない人間が多くなっているのではないのでしょうか。子どもはもちろん大人が多いのが問題です。これらも課題の一つにあげられるかも知れません。

5 このような課題にどう取り組むか

地域には必ず課題が存在するでしょう。それを的確に把握する必要がありま

す。そして、その解決のために何をどうすれば良いかを検討する、ただし公民館職員だけではなく地域ぐるみ



県大会聖籠大会 当日のスタッフ会議

で。ここで地域に入れるかどうかは職員の腕の見せどころ。急にはできません。

公民館が地域づくり、人づくりの拠点として機能するためには、まず、職員が元気になることだと思います。館長の仕事は、職員をいかにしたら元気にすることができかにかかっていると思います。

6 公民館力の向上

新潟県の公民館は全国的にその活動を高く評価されています。組織と運営が全国的に珍しい形態をとっていることも理由の一つです。

- (1)県内全ての市町村が加盟している。全国では全市町村が加盟していない都道府県がある。
- (2)県公連の事務所が独立している。他の都道府県では庁舎の中に事務所をおいている所が多い。
- (3)県広報紙として毎月発行して、50年以上通算750号を超える歴史がある。

このような活動は、先人の努力により、評価を得て高い水準を維持してきました。これらの活動が住民にとって大切な学びの役割を果たし、地域に欠かせない存在になっている公民館が県内に多くあります。そうした公民館の共通は、職員ががんばって「公民館力」の向上が図られていることです。

県内すべての公民館で、住民が活躍し、職員が笑顔で支える賑やかな所であるよう願っています。

(田原)

*参考：片野親義著「公民館職員の仕事」

実践記録シリーズ

20代向けユースセミナー

～仕事帰りにアハ！体験 ちょっと寄り道していきませんか～

新潟市中央公民館

217

◆講座プログラム

回	実施日時	テーマ[会場]・講師(敬称略)	内容
1	2/4(木)	座禅体験 田宮 隆児 (ウキス興源寺 住職)	座禅体験を通じて、自分自身と向き合う
2	2/10(木)	強いチームのつくり方 井上 基之 (新潟 NPO 協会 理事)	チームビルディングのグループワークを通じて、強いチームのつくり方を学ぶ
3	2/18(木)	怒りと上手につきあおう 小松 弘美 (アンガーマネジメントシニアファシリテーター)	自分の感情について知り、怒りをコントロールする方法を学ぶ
4	2/25(木)	のぞいてみよう 他人の人生 デュケット 智美・デュケット ジャングニエル (Niigata SAKE Lovers 代表)	新潟で活躍している先輩の体験談や人生観を聞く
5	3/3(木)	座禅体験・みんなでトーク 田宮 隆児 (ウキス興源寺 住職)	座禅体験のあと、全5回の講座で何か自分自身に変化があったか、グループで話し合う

【企画にあたって】
前年度参加者の中から企画委員を募り、企画会議を2回実施しました。その中で印象的だったのは、「公民館の講座というのは敷居が高い感じがする」という言葉でした。また、「セミナー」や「講義」というと難しく感じられるので、「体験」というような気軽な感じの方が、参加しやすいのではといった意見もありました。企画会議で出された意見を踏まえて、今年度の講座を企画しました。

【講座の概要・目的】
ユースセミナーは、20歳代の働く人を対象にした全5回の連続講座で、例年、2月から3月にかけて実施しています。異業種交流や自己研鑽を目的とし、仕事が終わってから参加できるように、平日夜間19時から21時までで開催しています。新潟市内の公民館で開催される数少ない若者向け講座の1つです。

初回と最終回が「座禅体験」だったため、和室を会場としました。それ以外の回は通常通り講座室で実施しました。机と椅子が並んでいる講座室とは違い、初回の会場が和室だったことで、参加者が自然に円く座って、和気藹々とした雰囲気での講座がスタートしました。特に狙ったことではなく、想定外の収穫でした。

【講座の様子】
◆参加者：22名(男性8名、女性14名)
申し込み

タイトルの「アハ！体験」というのは、何か気づいたときやひらめいたときに「あっ」と感じる体験のことです。全5回、約1か月にわたる講座を受講していく中で、自分自身でも気づかない内に「あっ」と驚くような大きな変化が訪れているかも、という意味を込めて「仕事帰りにアハ！体験」とつけました。20代向けの講座があまり無いことから、このユースセミナーで公民館に初めて入ったという方も多く、公民館を知ってもらおう第一歩という意味でも、とても価値がある事業だと感じています。



体験談



チームビルディング



座禅体験

【参加者の声】
・毎回刺激を受ける内容でした。終わってみてアツという間でしたが充実感があります。
・同世代の異業種の方と話す機会があまりないので、新鮮でした。悩んでいるのは自分だけじゃないと安心しました。
・自分の生き方について改めて考え直してみたいと思いました。

【講座を振り返って】
毎回、講座が始まる前から、集まった受講生同士で楽しそうに会話する姿が見られ、とても良い雰囲気のまま全回が終了しました。企画会議で「公民館は敷居が高い」と感じると言われたことを受けて、何とか今回のユースセミナーの参加者の方には、公民館が身近で気軽な場所であると感じていただきたいと思い、そのことを意識して講座運営にあたりました。講座終了後に、参加された方から「朗らかな雰囲気、あまり気負わず楽しく参加できた」「公民館の職員がアットホームな感じで親しみやすかった」という感想をいただき、ホッとしました。

【今後について】
今年度の受講生の有志で、サークルを作っており、今後も継続的に活動することを目指しています。公民館の団体・サークルには、子育て系を除くと、20代・30代が中心になって活動しているサークルがあまりないため、今回のメンバーが中心となって、若い世代の生涯学習の場ができればよいと考えています。
(新潟市中央公民館 鴨井 理紗)



大好きな手芸で
仲間作り

エコクラフト手芸を楽しむ会

月2回のペースで思い思いのかごやバッグ作りを楽しんでいる私達のこの会は、活動を開始してから1年半になります。

最初は、全員が同じパンかごを作るところから始まり、次は、形の大きい物・小さい物、編み方の難しい物と挑戦していきます。テープの色もカラフルで、柄の入ったテープもあります。同じかごを作っても、テープの色合いで出来上がりの雰囲気が違います。今度はその色で作ろうなどと、色見本を見ながらワイワイとテープを注文するのも楽しみです。会話



をしても作る手は止まりません。時には休憩もせず時間が過ぎることもあります。

こんな手芸大好きグループの仲間を増やすことが私たちの目標です。皆さんもバッグやかごを作ってみませんか。

上越市・エコクラフト手芸を

森山 玉枝 記

声の和・人の和

コーラスとようら

歌うことが好きな人が集まり歌い続けて25年。昨年末には25周年記念コンサートを開くことができました。育て指導して下さった方々に感謝の気持ち一杯です。50代〜80代



新発田市・コーラスとようら
渡辺 広子 記

まで総勢19名。橋本治子先生の指導の元、週一回練習に励んでいます。詞を理解すること、情景を思い浮かべること。そうすれば自ずと歌に気持ちが入る。体幹を鍛えること、姿勢を正すこと。そうすれば声は出る。さながら国語と体育の授業のようです。一同、全幅の信頼をよせて聞き入ります。楽しい楽しい練習です。成果が出るのは容易ではありませんが、歌がそれなりに仕上がって、合唱できることは、何物にも代えられない喜びです。一緒に歌いませんか。

柏崎市生涯学習課
主任 山本 浄司さん



昨年4月に当課に配属となった山本浄司主任を紹介します。

彼の前職場は、当課業務との関わりのある柏崎市立図書館(ソフィアセンター)に勤務していました。異動直後から当課の三大イベントの一つである『柏崎潮風マラソン(毎年5月第三日曜日開催)』の準備業務に奮闘していました。

何分にも異動直後からピークを迎えた業務に突然携わるような状況に置かれ、最初は随分戸惑っていたようですが、根っからの明るさと行動力を発揮し、今では、随分前から当課に居たかのような存在感を醸し出し、職員や利用者から信頼を得ています。

日々、業務に励んでいる姿を見ていますが、今までの経験を基にリーダーシップを発揮し、他の職員をリードして貰っています。とにかく彼がいると職場が明るく、笑顔があふれています。今では、彼の明るさに感謝する毎日です。

(生涯学習課 企画管理係 新田 栄喜 記)

南魚沼市中央公民館
主任 青木 寛さん



南魚沼市中央公民館の青木寛さんを紹介します。昨年の4月に公民館に配属され、1年が経ちます。公民館に配属されるまではずっと福祉関係の職場にいたそうで、物腰の柔らかい、丁寧な対応が持ち味です。担当する事業の講師からは、「いつも仕事が丁寧ねえ〜」とお褒めの言葉を頂いています。

勉強熱心で、昨年の1年間のうちに、こっそり4つも資格をとったようです。現在も次の資格の試験に向けて勉強中だとか…。そんな勉強家の青木さんの趣味は一人旅。昨年は沖縄の離島を巡ったようです。今は一人旅ですが、いつか二人旅になるといいですね。

腰が低く、几帳面で真面目な青木さんですが、スポーツカーに乗ったり、ブランド物を身に付けていたりするオシャレさんでもあります。と、思いきやお茶目な一面もあり、場を和ませてくれることもあります。そんな青木さんのおかげで、退屈知らずの職場です。

(南魚沼市中央公民館 笹岡 遥 記)

素顔拝見

ネットワーク

- 4 研修 1200名
- 3 参加者…3市(上越市、妙高市、糸魚川市)の公民館職員、公民館運営審議会委員、社会教育委員、公民館協力員等 合計
- 2 会場…上越文化会館
- 1 期 日…平成28年3月8日(火)13:30~16:00

上越地区「社会教育関係職員等研修会」開催

平成27年度の上越地区研修会が開催されました。田原事務局長も参加しました。



会場いっぱいの参加者



熱弁の長澤講師

(1)講演会…
「地域を支える・人をはぐくむ公民館の役割」
千葉大学教授
長澤 成次 氏

前半は公民館の成り立ち

等の基本編の講義
後半は千葉、福井県の活動事例を紹介
まとめでこれからの公民館の課題を指摘
(2)意見交換

お・元・氣・で・す・か

「すきなことが、できる喜び!!」

徳井 雅司

(十日町市)



自己学習や訓練も必要です。

東京で長年サラリーマンをやっていました。定年の数年前から「多忙な日々から解放されたい」と思っていました。昨年次々と挑戦を始めました。現在7件のサークルや各種活動と2件のボランティアに参加しています。

音声訳サークルや大地の芸術祭のサポーターは、ボランティアとはいっても、やる以上はやはりそれなりの責任も伴い、緊張感も要求されますし、一部は

※「お元氣ですかのコーナー」は現役をリタイアした方がその後「元氣に活動している様子を紹介するコーナー」です。

特に音声訳サークルは、視覚障害の方々にも市報や市議会議事録等を読んでCDに録音し、社会福祉協議会にお届けするボランティア活動です。昨年夏から挑戦を始めましたが、市内の地名の読み方、アクセントの習得や知らないうちに身についた発音のクセ等の矯正に苦労しましたが、1月に初めて市報の録音でデビューした時には、非常に大きな喜びでした。

趣味の世界で自分の心を豊かにしてくれる活動として、コーラスグループや書道教室に通っています。私はその中で公民館活動を知りました。特に十日町は「明石学級」という名前の下に多くのカリキュラムがあり、年間を通じて活発な活動が行われています。

皆さん明るく元氣です。自分の身体の衰えを言いながらも、目は笑っています。私はそのコミュニティの中に自分を置くことに大きな喜びと安心を得ることができました。

これからも公民館にたくさんお世話になって、好きなことに励みながら元氣と喜びをいただきます。

美しい国土と豊かな環境を未来の世代に

過疎地域には、安全・安心な食料や水の供給、エネルギーの提供、国土の保全、災害の防止、地球温暖化の防止等のほか、都会の人々のやすらぎや教育の場として、国民全体の安全・安心な生活を支える極めて重要な公益的機能があります。

私たちは、過疎問題の解決を国民全体の課題と捉え、継続した取り組みが必要であると考えています。

新潟県過疎地域自立促進協議会
会長(出雲崎町長) 小林 則 幸

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

◆新潟県内の過疎市町村(14市町村)

長岡市、上越市、柏崎市、十日町市、村上市、糸魚川市、妙高市、佐渡市、魚沼市、阿賀町、出雲崎町、津南町、関川村、粟島浦村

事務局長のつぶやき

事務所のコーヒーブレイク時にはみんなで畑談義。春になって会話が一層賑やかになってきました。私が、畑仕事が好きなの理由。

退職して畑作りにいそしむ人が多いのは、案外、私と同じ理由かもしれません。桜の季節になり、年度が替われば、4月は出会いのときです。新人の人も、迎える人も精一杯の笑顔でスタートを切りたいものです。(田原)